

## 第1次計画における成果と課題

### (1) 成果

#### 基本方針①子どもの読書環境の整備・充実

- ・市立小中学校で学校図書館司書が全校配置された
- ・学校図書館での貸出冊数・貸出人数が増加
- ・こども図書館の利用者数、児童書の貸出冊数、おはなし会への年間参加人数が、目標値を上回った

#### 基本方針②家庭・地域、市立図書館、学校等の連携・協力による子どもの読書活動推進

- ・ブックスタート関連事業「おはなし しゅっぱつしんこう！」を実施、ブックセットの設置施設数の目標を達成  
(令和2年度現在、市内すべての保育園(所)・幼稚園を含む95施設に設置済)
- ・団体貸出冊数が、第1次計画時(平成29年)より2,379冊増加
- ・学校図書館による地域ボランティアの活用が活発化

#### 基本方針③子どもの読書活動に対する理解・関心の向上と普及

- ・子育て関連施設において、保護者への啓発活動をしている施設が平成28年度から概ね増加
- ・中・高等学校において、保護者への啓発活動が平成28年度から増加
- ・ブックセット設置・ブックリスト配布による子育て関連施設への啓発、情報提供の促進(子育て関連施設職員から「勉強になる」との声あり)
- ・家庭で読み聞かせをしている人の割合が、平成28年度と比較して上昇

### (2) 課題

#### 〈流山市〉

- ・学校段階が進むにつれて読書離れの傾向
- ・高等学校・特別支援学校での読書活動が少ない
- ・学校図書館司書の一枚当たりの勤務時間が少ない
- ・学童・児童センター・障害者施設での研修の開催・参加が活発ではない
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止策としての休館・休校、行事の中止や縮小

〈上位計画を反映して、第2次計画に組み入れることを検討する内容〉

(1)「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」(国・第四次)

- ・中学生までの読書習慣の形成が不十分

→読書週間の形成に向けて、発達段階ごとの効果的な取組を推進

- ・高校生になり読書の関心度合の低下

→友人同士で本を薦め合うなど、読書への関心を高める取組を充実

- ・スマートフォンの普及等による子供の読書環境への影響の可能性

→情報環境の変化が子供の読書環境に与える影響に関する実態把握・分析

(2)「千葉県子どもの読書活動推進計画」(県・第四次)

- ・セカンドブック事業の実施

- ・読書バリアフリー推進